



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>人・農地プランによる担い手への農地の集約化の実施については、農業委員会に協力を依頼し集落ごとの会合の中で議題としてあげてもらったなどの実施に向けての活動を行いました。農業委員と全筆調査を行い耕作しなくなった農地をリストアップし、その農地を耕作したい農家の方（2名）とマッチングさせ遊休農地解消に貢献しました。（令和3年度実績 五軒屋地区 1筆、4a）</p> <p>生産基盤整備では、ため池の工事に伴う工事費を土地改良施設維持管理適正化事業にて積み立てました。 （中山谷池護岸補修 法面保護工 250㎡・井戸ヶ尻池護岸補修 ブロック積工 H=3.7m L=17.50m）</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>高齢化や後継ぎ等の問題により所有する土地の管理が十分に行われていないところが増えている一方、家庭菜園希望者は増えてきており、需要と供給のバランスが保たれていることから、農地の有効活用に関するニーズは高いと思われます。</p> <p>また、生産基盤整備の観点からため池の老朽化が進んでおり、補修事業の推進は必要です。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>農業委員にも定期的にパトロールを実施、農地の貸し借り手の意向調査やマッチング作業、また農地の状態やため池の状態等の現場確認の結果報告を求めます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 農業委員にも定期的にパトロールを実施、農地の貸し借り手の意向調査やマッチング作業、また農地の状態やため池の状態等の現場確認の結果報告を求め、それらをリストアップし管理することで土地改良施設維持管理適正化事業の推進につなげていきます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—	
		基本施策	① 農業	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 農地の有効活用		
	指標（予定）	KPI	遊休農地の活用件数	2筆
		—		
		—		
—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>生産体制の充実というところで、県やJAと連携を図り、農業者をサポートするための相談窓口の設置や、その周知活動を農業委員とともに行い、新規就農者及び認定農業者は現れなかったものの、上牧町で新規就農者になるために農業学校へ就学を希望されている方を1名発掘し、県へ紹介しました。                  （令和3年度 新規就農者0人、認定農業者0人）                  産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、場所の提供、ポスター作成等の支援を行い2人の新規協力者を確保しました。それにより朝市の会員数は合計17人となりました。                  奈良県新規就農者確保補助金制度活用のあっせんについては、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代の農業者に声かけしていますが、反響はありませんでした。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町では農業者の高齢化、後継者不足の問題、そして上牧町の農地は集約するのが難しい地形であるという問題もあり、新たに就農する若い世代や、担い手はいません。しかし近年、食の安全安心や伝統的な食材・食文化が改めて見直され、私たちの食や農に対する関心が深まってきています。生産者と消費者の顔が見えるコミュニケーションの場を創出することにより、生産者に対する信頼や、農産物に対する安心感が芽生え、スーパーやデパートにはない消費機会が生まれることから地産地消の推進につながると考えます。そのことからニーズは増加する方向にあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>農業者の声を直接拾っていき、上牧町における農業の今後を検討していく必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 農業委員会による農業者向けアンケートを実施するなど、農業者の声を直接聞き、上牧町における農業の今後を検討していく必要があると考えます。また、そのアンケートを基に農業施策を打ち出していきたいと考えます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—		
		基本施策	① 農業		
施策の展開方向		② 生産体制の充実			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		新規就農者や担い手の方が上牧町で農業がしたいと思える現場づくりやサポート体制の充実を目指し、その方々が作った新鮮な野菜等を産地直売の形で出してもらい、そしてその野菜等を地元で消費する、循環型農業いわゆる「地産地消」を推進していきます。 農業委員会による農業者向けアンケートを実施し、そのアンケートを基に農業施策を打ち出していきたいと考えます。 新規就農希望者向けの相談窓口を設置又は奈良県やJAと連携を図り、新規就農者及び認定農業者の確保に努めます。 産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、生産者や販売員等の人員の募集を引き続き支援していきます。また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「片岡の里 春ちゃんの黒カレー」に使用させてもらうことで地産地消につなげます。 新規就農者育成については、空き家バンク制度と連携を図りながら推進していきます。			
指標（予定）	KPI	新規就農者数（年間）	1人		
	独自	認定農業者の確保	1人		
	独自	産地直売体制への新規協力者数	2人		
	—				
	—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>中小企業者の経営サポートについては、セーフティネット制度（町内の事業所で売り上げが前年度と比較して下がっていれば、銀行等から融資を受けることができる）を活用し、提出された書類を審査し、12の事業所認定を行い銀行等の関係機関に紹介しました。これらは新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰りが難しくなったことが原因です。</p> <p>導入促進基本計画に基づく申請が無く0件でした。</p> <p>経営指導体制の構築や起業支援体制の構築のための会議が王寺町役場で開かれたので、上牧町商工会とともに参加しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金にて、「接客事業者感染防止対策支援事業」を行いました。これについては接客業を営む事業所に対し一律4万円を交付するもので、257件の申請があり交付完了しました。</p> <p>本町商工業の振興を図るため、上牧町商工会が行う事業に対し、1,252,000円の補助金を交付しました。内容としては、べたろう製作及び広報費、商店ストリートビュー5社分作成費、グルメマップ作成費、HP作成費、名刺交換会の案内費用、これらの活動について補助しました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町内の中小企業は、請負う仕事量の減少や跡継ぎがいらないなどの問題に直面しており、また新型コロナウイルス感染症の影響から事業所数は今後減少に向かうと想定されるため、支援等に関するニーズは増える可能性があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>県と連携を図りながら、上牧町の中小企業の実情を知ってもらうとともに、県の事業に中小企業をサポートするメニューがないかを模索します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 県と連携を図り、上牧町の中小企業の実情を知ってもらうとともに、県の事業に中小企業をサポートするメニューがないかを模索し、そこで知れた情報を広報やホームページに掲載するなどして、事業の周知活動を行います。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で町内における商工業が打撃を受けていることから、活性化に向けて中小企業やその中心となる商工会に対し、今後もサポートをしていく必要があると考えます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—		
		基本施策	② 商工業		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 商工業の振興			
	<p>中小企業の事業所や地域団体の自主的な活動を支援するとともに、町内外において地域商業の積極的なPR活動を行います。また、商工会と会議を重ねるなど連携を図り、経営指導体制の構築や起業支援体制の構築に努めます。</p> <p>中小企業者の経営サポートについては、セーフティネット制度及び導入促進基本計画における企業認定制度を推進し、中小企業の活性化を支援します。</p> <p>商工業の発展につなげるため、商工会に対してのサポートや事業協力を実施していきます。</p>				
	指標（予定）	KPI	創業支援による新規事業所数（累計）	1事業所	
		独自	セーフティネット制度による企業認定	5事業所	
独自		導入促進基本計画に基づく企業認定	1事業所		
—					
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>朝市で販売する野菜等を買い物弱者の方へ直接届けるなどのサービスができないかと上牧ふれあい朝市会と協議した結果、希望される方に対して配達することの了解を得ました。結果、令和3年度については9件の配達がありました。</p> <p>新たな地域特産品の開発については、商工会と協議を重ねた結果、商工会会員によって「片岡の里 春ちゃんの黒カレー」が開発され、商工会から販売される運びとなりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化社会において、買い物ひとつするにも苦勞する住民の方は今後増えていく傾向にあると思われるため、ニーズは高いと思われます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>買い物弱者への支援という観点から、関係課と調整しながら事業を推進していきたいと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 買い物弱者への支援という観点から、関係課と調整しながら事業を推進していきたいと考えます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—	
		基本施策	② 商工業	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 地域に根付いた魅力ある地域商業の活性化		
	<p>買い物弱者への支援という観点から、関係課及び商工会と調整しながら事業を推進していきたいと考えます。</p> <p>農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえよう、ペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動等、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげます。また、地元農業者や商工業関係者と協議を重ね、黒カレーに次ぐ第2、第3の新たな地域特産品を開発または開発支援をしていきます。</p>			
	指標（予定）	KPI	新たな地域特産物（累計）	1品目
		—		
—				
—				



# 上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	78ページ
担当係	児童福祉係・こども支援係・こども総合相談係	関連部門			

## 1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—			
	基本施策	③ 労働環境			
	施策の展開方向	① 安心して共働きできる環境の整備			
目指す姿	タイトル	仕事と生活の調和のとれた豊かな生活を送れるまち			
		仕事と生活の調和のとれた働き方ができ、町民一人ひとりが意欲を持って働きながら豊かさを実感して暮らせるまちを目指します。			
想定される取組	【通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援】【病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減】【子育て支援セミナーの開催】 【乳幼児教育の充実】【ファミリー・サポートセンターの実施】				
令和3年度実施予定	趣旨目的	病児・病後児保育、放課後児童クラブ等の充実に図り、安心して共働きができる環境整備を行います。			
	内容	土庫こども診療所病児保育園及び西和地域病児保育室にて集団保育を受けることができない病気や病後回復期の子どもを一時的に預かるサービスを実施します。放課後児童クラブについては、上牧町内3校の小学校で行い、保護者が共働き等により家庭保育を受けることができない1年生から6年生の児童に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図ります。また、延長保育事業として、上牧町内保育所で延長保育を実施することで開設時間を越えた保育に取り組めます。上牧第1保育所では英語知育教育と和太鼓ミュージックケアを行います。また、子育ての不安の解消等を目的とした子育てセミナーを開催します。乳幼児や小学生の保護者が子どもの託児を希望する場合、社会福祉協議会が支援しているボランティアグループにつないでいきます。			
総合戦略の取組	11. 乳幼児教育の充実	22. 子育て支援セミナーの開催	41. 子育てと就労の両立の支援	42. 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減	

## 2. 実施結果「D0（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）	
事業費	延長保育事業	3,995	3,932	4,731	4,707	6,765	
		3,995	3,932	4,731	4,707	4,796	
	病児保育事業	77	451	3,520	2,842	2,434	
		77	451	3,520	2,842	1,817	
	第1保育所情操教育事業	294	368	369	556	593	
		294	368	369	556	555	
放課後児童健全育成事業	22,894	22,934	18,290	32,810	30,986		
	22,894	22,934	18,290	32,810	38,329		
合計	(R03時点)	27,260	27,685	26,910	40,915	40,778	5年間累計 163,548
	(R04時点)	27,260	27,685	26,910	40,915	45,497	5年間累計 168,267
令和3年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった					
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛のためあらゆるイベントが中止になり、子育て支援セミナーも開催することができませんでした。					

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

## ●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
独自 延長保育年間実利用者数	—	人	-	182	220 184	220	220
独自 病児病後児保育施設登録者数 (目標年度終了時点)	病児保育登録者数	人	-	77	120 84	120	120
独自 放課後児童クラブ月間受入人数 (年平均値)	—	人	-	133	140 133	140	140
独自 乳幼児教室年間開催数	—	回	-	36	36 36	36	36
独自 セミナー年間参加者数 (延べ人数)	参加人数	人	-	0	40 0	40	40

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																											
	<p>①延長保育実利用人数は、平成29年度194人 平成30年度216人 令和元年度204人 令和2年度182人 令和3年度184人                  ②病児保育延べ人数は、平成29年度15人（実利用人数6人） 平成30年度87人（実利用人数10人） 令和元年度64人（実利用人数12人）                  令和2年度16人（実利用人数10人） 令和3年度28人（実利用人数16人）                  ③学童保育は平成29年度から全学年を対象とし、通年及び長期休暇のみの受入れを実施しています。待機児童もなく、申込者すべての受入れができました。平成29年度135人 平成30年度136人 令和元年度133人 令和2年度133人 令和3年度133人                  ④第1保育所乳幼児教室は、外国人英語教師により毎月1回、3・4・5歳児クラスを対象に90分、英語のリズムに合わせて歌やダンス、ゲームに取り組んだ結果、英語やアルファベットに対して興味を示し、もっと覚えたい、知りたいという意欲を持つなど、英語という異文化に触れ楽しんでいる姿が見られました。和太鼓も毎月1回、5歳児クラスを対象に90分、音楽に合わせてリズムをとり身体を大きく動かし表現することに取り組んだ結果、リズム感が鍛えられ、集中力を養い、協同性が生まれたと考えます。                  ⑤新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛のためあらゆるイベントが中止になり、子育て支援セミナーも開催することができませんでした。</p>																											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																												
【各事業の利用人数（人）】																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①延長保育</td> <td>194</td> <td>216</td> <td>204</td> <td>182</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>②病児保育</td> <td>15</td> <td>87</td> <td>64</td> <td>16</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>③学童保育</td> <td>135</td> <td>136</td> <td>133</td> <td>133</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	R03	①延長保育	194	216	204	182	184	②病児保育	15	87	64	16	28	③学童保育	135	136	133	133	133
	H29	H30	R01	R02	R03																							
①延長保育	194	216	204	182	184																							
②病児保育	15	87	64	16	28																							
③学童保育	135	136	133	133	133																							
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	評価の根拠及び理由 就労形態の多様化、核家族化、共働き夫婦の増加に伴いニーズは増加すると考えます。																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																								
	評価の根拠及び理由 各事業は引き続き実施していきますが、全てにおいて引き続き新型コロナウイルス感染対策が必要となります。子育てセミナーについては、保護者の子育てを応援するため、少人数を対象として開催することや、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用してオンラインでのセミナー開催も考えます。「いちごルーム」は引き続き周知を行います。																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、引き続き、安心して子育てができる環境整備・事業の充実を図ります。 「いちごルーム」の案内チラシを制作し、保育所や学童保育所に保護者への配布をお願いしました。今後も継続して周知を続けます。また、令和3年度より毎年の再登録については上牧町から意見を出したところ、5町で協議し更新不要となりました。利用者の負担軽減となり病児病後児保育をさらに利用しやすくし、上牧町の子育て応援環境へとつなげます。近隣で新たな病児保育施設を検討します。 英語知育教育及び和太鼓ミュージックケア終了後に子どもたちから感想など聞き取りを行いながら、子どもたちの実情に応じ、事業の拡大も検討していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—		
		基本施策	③ 労働環境		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 安心して共働きできる環境の整備			
	指標（予定）	KPI	子育て支援セミナー参加延べ人数（年間）	40人	
	KPI	乳幼児教室開催数（年間）	36回		
	KPI	病児・病後児保育施設登録者数	120人		
	—				
	—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>ハローワーク大和高田・株式会社ポーラ ショップCherishと連携し、「マザーズセミナー」を開催しました。（3/8開催）                  今年は、ハローワークによる「社会復帰に役立つママセミナー」とポーラショップによる「プロによるメイクアドバイス」の2部構成で行いました。当日は、定員10名に対し8名の方にご参加していただくことができました。実施後のアンケートでも概ね高い評価をいただくことができました。                  また、役場庁舎内に設置しているハローワーク求人情報端末については、今年は1人も利用者がいませんでした。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ライフスタイルは多様化しており、様々な働き方の実現が求められる中で、就職情報発信及び就職支援の取組に対するニーズは増加傾向にあると考えます。また、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、世帯収入の減収に伴う共働きニーズも増加傾向も見られます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>マザーズセミナーに関しては、世帯収入の減収に伴う共働きニーズの高まりもあり、参加人数が今後も増加傾向になっていくと考えられます。参加人数を増やしていく取組として、広報活動を積極的に行うのと同時に共同開催の事業者も参加者のニーズに合った事業者に参加してもらえるようにしていきます。ハローワーク求人情報提供端末については、現在スマートフォン等で情報を簡単に取得できるようになっており、情報を取得できる環境が整っていないかたに対するサービスの提供になっていますが、利用者数は増えていない状況です。また、ハローワークからも事業縮小の意向を聞いていますので、撤去も視野に検討していきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ハローワーク求人情報端末については、令和3年度に一度も利用されなかったため、撤去も視野に含めて検討していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—		
		基本施策	③ 労働環境		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② ハローワークや町内事業者等と連携した就職支援			
	<p>【子育てママ就業支援事業】                  新型コロナウイルスの感染状況等を勘案しながら、事業の継続展開に向け、令和元年度に設置した上牧町子育てママ就業支援事業推進会議において地域関係者等と連携・情報共有を図ります。</p> <p>【ハローワークとの連携による就業支援】                  ハローワークと連携した就職準備セミナー（マザーズセミナー）については、令和2年度に開催した動画をアーカイブ配信を継続するとともに、協力事業者を確保した上で令和4年度も実施していきます。マッチングイベントに関しては、他市町村の事業例等を研究し、検討していきたいと考えています。</p>				
	指標（予定）	KPI	就職支援セミナー等への参加者数（年間）	20人	
		KPI	子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）	50人	
		KPI	子育てママ就業支援施設稼働率（年間）	60%	
KPI		マッチングイベント等参加事業者数（年間）	1事業者		
	—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																		
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																					
	<p>一般就労につなぐことを目的とした制度として、奈良県が設置する生活自立サポートセンターの利用や障害者総合支援法に基づく就労系障がい福祉サービスの活用があり、窓口において個々のケースに応じた就労に関する相談支援を提供しました。</p> <p>○生活自立サポートセンターとの連携 生活困窮者の就労に係る相談について、奈良県中和・吉野生活自立サポートセンターが対応した上牧町の件数は58人（実人数）であり、令和2年度の34人から24人の増となっています。</p> <p>○就労系障がい福祉サービスの利用状況</p> <p>①就労継続支援（A型） 一般就労への移行を目指し、雇用契約を結び、障がい者施設で働きながら能力向上を図るサービスであり、18人が利用されました。</p> <p>②就労継続支援（B型） 一般就労への移行を目指し、雇用契約を結ばないで、障がい者施設で働きながら能力向上を図るサービスであり、34人が利用されました。</p> <p>③就労移行支援 一般企業への就職を目指し、PC操作等知識や企業で働く上で必要な能力向上のための訓練を行うサービスであり、8人が利用されました。</p> <p>※福祉施設から一般就労への移行者数について、第6期障がい福祉計画の成果目標では令和3年度から令和5年度の一般就労への移行人数の累計を8人以上としています。令和3年度は3人が一般就労に移行しており目標達成となりました。今後とも就労支援事業所との情報共有を行いながら、移行後の職場定着支援のサービス利用促進に取り組みます。</p> <p>○関係機関との連携強化 奈良県障害者就業・生活支援センターライク（大和郡山市）の主催する「西和圏域就労支援連絡会議」（オンライン開催）に出席し、障がい者の就労支援や就労定着支援に係る事例検討や情報共有を行いました。なお、ライクは障がい者の就業面・生活面における相談やサポートを行う地域の生活支援センターであり、令和3年度未現在ライクに登録中の上牧町利用者は47名、令和3年度中に一般就労された方は1名となっています。（出席者：ハローワーク、奈良県障害者職業センター、就労系事業者等）</p>																																																					
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																						
	【就労系サービス利用者数（年度末時点）】（人）	【一般就労への移行人数（年度内）】（人）																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A型</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>B型</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	A型	16	14	14	18	B型	27	30	32	34	就労移行支援	4	4	3	8	合計	47	48	49	60	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A型</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B型</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				H30	R01	R02	R03	A型	2	3	3	1	B型	0	1	0	0	就労移行支援	1	1	4	2	合計	3	5	7	3
	H30	R01	R02	R03																																																		
A型	16	14	14	18																																																		
B型	27	30	32	34																																																		
就労移行支援	4	4	3	8																																																		
合計	47	48	49	60																																																		
	H30	R01	R02	R03																																																		
A型	2	3	3	1																																																		
B型	0	1	0	0																																																		
就労移行支援	1	1	4	2																																																		
合計	3	5	7	3																																																		
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい者や生活困窮者への支援は国や県が法律に基づいて行うサービスであり、町が窓口となって関与する必要があります。昨今のひきこもり問題による家族からの相談や、発達障がいを持つ方の家族からの就労に係る相談は年々増加しており、障がい者数の増加とともに、増々ニーズが高まることが予想されます。</p>																																																					
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>就労系サービスを利用して一般就労へ移行された方が、職場に定着できず、数カ月で再度就労系サービスを利用されるケースもあります。本人の意向を汲み取りながら、一般就労への移行後の支援についても個々のケースに応じて検討していく必要があります。</p>																																																					

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 就労系事業所や計画相談員等の関係機関と積極的に情報共有を行いながら、一般就労移行後に本人の職場へ訪問したり、生活全般に関する相談支援を行う「就労定着支援」サービスの利用促進や周知に取り組みます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策			
		基本施策			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	●事業の分析（評価の根拠・理由）													
	<p>独自指標の「プロモーション活動の認知度」については、令和3年度の実績値が38.2%で、目標値の51.0%を下回ったことから目標とする成果が得られなかったと考えます。認知度が低くなっている理由としては、移住促進の取組が令和2年度で一旦縮小となったことで対外的なプロモーション活動がなくなり、既存作成物を活用したプロモーション活動のみになったことが考えられます。</p> <p>ペガサスフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでしたが、代替事業として、ペガサスフェスタのステージパフォーマンスの「動画配信」をYouTubeで行いました。ステージパフォーマンスについては、例年ペガサスフェスタに参加している団体（保育園等）の協力を得て、ペガサスホールで演技をしていただきました。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、移住促進の取組として、県主催のオンラインセミナー「奈良で働く相談会」に参加し、移住を考える方を対象に各町の紹介を行いました。4町が連携して行う新たな取組については、検討を進めましたが、具体的な内容の決定まで至りませんでした。</p>													
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。														
【プロモーション活動の認知度（%）】														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>50.6</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>38.2</td> </tr> </tbody> </table>					年度	認知度 (%)	H30	46.5	R01	48.1	R02	50.6	R03	38.2
年度	認知度 (%)													
H30	46.5													
R01	48.1													
R02	50.6													
R03	38.2													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>大阪近郊のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、十分な知名度があるとは言えませんので、知名度を高めるような取組を実施することで、定住人口・関係人口・交流人口の増加、地域の活性化につなげてほしいというニーズは今後も増えてくると考えます。</p>													
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ペガサスフェスタの継続展開にあたっては、今後もより魅力的なイベントになるよう工夫を行っていく必要があると考えます。すむ・奈良・ほっかつ！事業については、広域観光についての新たな取組もしくは、各町単独で実施している事業の広域展開についての検討が必要です。</p> <p>その他、知名度アップを図る取組として、新たな企画の検討が必要と考えます。</p>													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も引き続き、ペガサスフェスタの開催やすむ・奈良・ほっかつ！事業におけるプロモーション活動等を行うことで、上牧町の認知度の向上を図っていきます。 また、認知度向上を目的とした新たな取組として、2000年会館（園庭）の桜を活用したイベント等を実施するとともに、SNSを活用した企画の検討を進めていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり		
		基本施策	④ 魅力づくり		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>施策の展開方向 ① 上牧町の知名度アップ</p> <p>令和4年度も引き続き、「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」を通じて知名度アップを図っていきます。</p> <p>また、認知度向上を目的とした新たな取組として、2000年会館（園庭）の桜を活用したイベント等を実施するとともに、SNSを活用した企画の検討を進めていきます。</p> <p>【新たな取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年会館の桜を活用したイベントの実施</li> <li>・メタセコイアのライトアップ</li> <li>・片岡城復刻ARの制作</li> </ul>				
	指標（予定）	KPI	SNSの延べフォロワー数	4,300人	
		KPI	プロモーション活動・媒体の認知度	50%	
	—				
	—				





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種イベント等は中止及び規模縮小となったことから、計画通りに実施できませんでした。その中で奈良県ウォーキング協会との共催で、王寺町から上牧町を経て馬見丘陵公園を目指す「ひまわりウォーク」と称したウォーキングイベントを8/7に開催し、50名程度の参加がありました。</p> <p>奈良県各地にある観光案内所3か所（橿原2か所、桜井1か所）に上牧町のパンフレットを設置させてもらい、斑鳩町のホテルにおいてもパンフレットを設置しています。また、王寺町のホテルについてはパンフレットを設置させてもらうことの手承をいただきました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町は観光地が少なく、全国的にみても認知度は低いので、現状ある観光地を整備することにより、それらが広く周知できれば、ニーズは増える可能性があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>まだ利用したことのない観光の関係機関は多くあるので、それらをリストアップする必要があるかと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） まだ利用したことのない観光の関係機関（観光協会やビジターズビューロー）と連携をとり、上牧町の歴史・文化・自然の魅力を発信していきます。 今後については、パンフレットの内容が古くなってきていることから更新を検討していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—		
		基本施策	④ 魅力づくり		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 上牧町の知名度アップ			
	町の観光地の周知活動や、イベント等の開催・参加により町の活性化を図ります。また、地域ならではのグルメや特産品をPRし販売することで、地域の認知度向上を図ります。 滝川遊歩道の整備完了に合わせて、上牧町魅力発信ツアー等のイベントを打ち出し、上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開していきます。 ベガスフェスタ、奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」及び「奈良マラソン」等のイベントに参加し、地域特産品の出店を積極的に各種団体と上牧町との共同で進めていくとともに、地域特産品が購入できる場所を広報やホームページに掲載していきます。 上牧町のパンフレットを奈良県各地にある観光案内所に設置させてもらうとともに、関係機関発行の情報誌に上牧町の情報掲載してもらいます。				
	指標（予定）	KPI	観光イベントの実施・参加回数（年間）	1回	
		—			
—					
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>上牧町、王寺町、広陵町、河合町を巡りながら「馬見丘陵公園」を目指す、一括した散策ルート为王寺町、広陵町、河合町、中和公園事務所と連携し、令和3年度に向けて実施できるよう協議した結果、奈良県ウォーキング協会との共催で、王寺町から上牧町を経て馬見丘陵公園を目指す「ひまわりウォーク」と称したウォーキングイベントを8/7に開催し、50名程度の参加がありました。</p> <p>滝川遊歩道を実際に歩いて安全面の調査を行うとともに、芝桜植栽の場所における撮影ポイントについては遊歩道では近すぎて文字が分かりにくいことから対岸の自転車道の整備完了を待って検討していきます。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ニーズの方向性としては、滝川遊歩道の整備に合わせてかんまき笹ゆり回廊の周遊とともに芝桜の開花時期においてイベント等の開催を行うことが必要と考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>滝川整備事業の推進として芝桜植栽整備事業を行いました。滝川整備事業の完了とともにこれらを見に来られる方や、遊歩道を歩きに来られる方が多数おられると予想するため、イベント等の開催を検討する必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 滝川整備事業の推進として芝桜植栽整備事業を行いました。滝川整備事業の完了とともにこれらを見に来られる方や、遊歩道を歩きに来られる方が多数おられると予想するため、イベント等の開催を検討する必要があると考えます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—	
		基本施策	④ 魅力づくり	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 地域資源をつないだネットワークの形成		
	滝川遊歩道の整備完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和4年度につきましては、かんまき笹ゆり回廊の周遊イベントとともに芝桜の開花時期においてイベント等の開催を行うことを検討します。			
	指標（予定）	KPI	かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率	65%
		—		
—				
—				



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	滝川遊歩道やその他の場所において、安全面の調査を実際に徒歩で実施し、危険箇所を再確認しました。 （伊那那岐神社から上牧第二中学校の間は整備が行き届いておらず倒木等有、大きい道を横断する所が7箇所ありその内4箇所は信号無、滝川に下りることのできる階段） 滝川に下りることのできる階段については、県に要望し対応していただきました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 かんまき笹ゆり回廊のルート整備が完了すれば、町の観光スポットを周遊することのできるルートが完成するため、ニーズが増えると思われまます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 かんまき笹ゆり回廊のルート整備が完了すれば、町の観光スポットを周遊することのできるルートが完成するため、イベント等の開催を検討する必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） かんまき笹ゆり回廊のルート整備が完了すれば、町の観光スポットを周遊することのできるルートが完成するため、イベント等の開催を検討します。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	④ 地域活性—地域の魅力を活かした賑わいがあふれるまちづくり—	
		基本施策	④ 魅力づくり	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 地域資源をつないだネットワークの形成		
	滝川遊歩道の整備完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和4年度については、かんまき笹ゆり回廊の周遊イベントとともに芝桜の開花時期においてイベント等の開催を行うことを検討します。			
	指標（予定）	KPI	かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率	95%
		—		
—				
—				